

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(6/21)

文：武田、写真：倉谷、越野、山國、

日時：2020(令和2)年6月21日(日) 9:30～15:30

気象：晴

活動エリア：44林班ろ

活動内容：林床整備、歩道整備、域内巡視、総会開催

参加者：猪川 誠、泉家恵子、大本孝子、斧田一陽、小櫃徹夫、河瀬宗憲、倉谷邦雄、黒山泰弘、河野直子、
越野雅美、小鶴道栄、薦田佳一、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、福西勇之助、山田真也、山 國、
茂木完治、松井直弘(体験) 会員19名+体験1名=計20名

<今日は「夏至」、「部分日食」、「総会開催」の揃い踏み>

今年の夏至の日は梅雨に珍しい晴天+16時から日食が始まる。17:10に最大43%の食(大阪)。

それはさておき

閑話休題、今日は活動を早めに切り上げ、コロナで遅れていた総会を開催。参加者はそれに相応し

い20名の賑やかさ。始業前、要約資料により「活動再開に関する基本的ガイドライン(緑化推進機構)」を説明、コロナも要注意だが夏場の活動は熱中症対策が不可欠。両対策の励行を改めて確認。

さて、活動は5班に分かれ、林床整備4人×3班、歩道整備・域内巡視:各4人、林床整備は「44林班」ろの下部、一昨年に上部を整備した際に投げ落さざるを得なかった処理木等が散乱している。歩道整備は下方の荒れた個所の修復。山中ではマスクを外す、適宜な水分補給と休息、昼食時は「三密」を避ける、等々申し合わせ、道具ザックやチェーンソー、鋏、掛矢を持って出発。

<今日の成果>

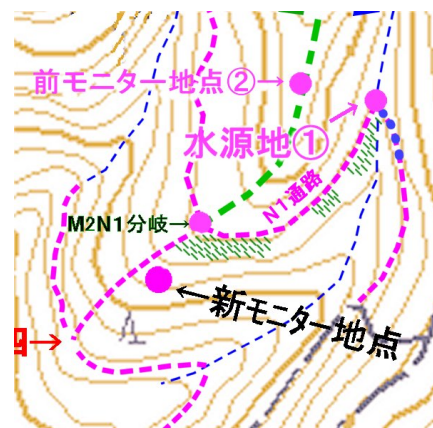
林床は三班合せて100m×30m=0.3haを整備、スギが中心で、枝が多く残り手間取る。おまけに溪に向かって傾斜はきつい。チェーンソーの響きが心強い。歩道は崩れ易い土壌の所為で狭まっていて、路肩補強と拡幅を約30m実施。上出来の一日。総会は本山寺さんの可笑院で。

<写真編>

【ガイドラインの説明も「密」を避けて】



【活動地要図-緑斜線:林床整備、青点:歩道整備】



【林床整備：棚積み前に茂った枝打ちから】



【ご覧の通りの傾斜地での林床整備】



【スッキリしつつある斜面の林床】



【落枝と崩れた土に埋まった歩道】



【落枝や土を除け、路肩補強の杭打ち】



【総会開催：会長挨拶】



総会結び

"I say, Let's promise together/Under the Lindenbaum tree"(阿木洋子作詞「菩提樹」より)